

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

「主体的・対話的で深い学び」を実現できる授業を創造し、確かな学力そしてやり抜く力を育む。研究主題を【自ら考え 進んで伝え合い 深め合う子の育成】とし、主に国語科を中心として児童の力を高めていくための研修に励む。

4月

学力向上目標

○さいたま市学習状況調査の国語・算数の正答率を、昨年度の値より2～5pt向上させた値にする。特に国語の「話すこと・聞くこと」の領域の正答率を5pt向上させた値にする。

＜目標達成に向けた学力向上策＞

策1

学校課題研修を進め、書くことを主とした伝え合う授業を実践していく。

開始期日

5月中

具体的な手立て

- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を分析し、実態を把握する。
 - ・3つの専門部を軸に学校の研究を進めていく。
- 授業 大里スタンダードの確立と定着 環境 学習環境の整備
調査 児童実態把握と朝学習シートの作成

2月

本年度の振り返り

児童の書く力、伝え合う力を高める授業の実践を積み重ねた。多くの研究授業や公開授業を行ったことで、「単元計画を立てる」「相手意識、目的意識を明確に設定する」「意欲的に取り組めるよう導入を工夫する」などを意識した授業づくりをすることができた。また、他学年の授業を参観することで、6年間の系統性への意識を高めることができた。伝え合いをする意図を明確にすることで、話し合いの視点を明確にしたり、意図的に場を設定したりするなど、他教科にも生かせる指導方法を検討することができた。また、様々な伝え合いの方法を検討することができた。階段提示や「国語パワー・ONE アップエリア」(国語科学習コーナ)を充実させていくことにより、児童の語彙に対する意識や意欲を高めることができた。業前学習(ぐんぐんタイム)に接続語や原稿用紙の使い方など、基礎的、基本的な書き方を学ぶ取り組みや、語彙を豊かにする取り組みを行い、定着を図ることができた。

達成度

90%

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

3年間の学校課題研修を終え、次年度は算数科を中心にまた研修を積み重ねる予定である。児童の「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを柱として、進んで伝え合う子の育成、基礎学力の向上、小・中の連携等も含めて実践していきたい。